

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4589611号
(P4589611)

(45) 発行日 平成22年12月1日 (2010. 12. 1)

(24) 登録日 平成22年9月17日 (2010. 9. 17)

(51) Int. Cl.	F 1
G 0 9 F 3/00 (2006. 01)	G O 9 F 3/00 D
G 0 9 F 3/10 (2006. 01)	G O 9 F 3/10 A
G 0 9 F 19/00 (2006. 01)	G O 9 F 19/00 N
G 0 9 F 21/04 (2006. 01)	G O 9 F 21/04 N

請求項の数 3 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2003-307862 (P2003-307862)	(73) 特許権者	000130581
(22) 出願日	平成15年8月29日 (2003. 8. 29)		株式会社サトー
(65) 公開番号	特開2005-77739 (P2005-77739A)		東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
(43) 公開日	平成17年3月24日 (2005. 3. 24)	(72) 発明者	山本 一茂
審査請求日	平成18年8月24日 (2006. 8. 24)		東京都渋谷区恵比寿4丁目9番10号
			株式会社サトー内
		審査官	秋山 斉昭

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 広告体および広告媒体提供装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電車の吊革や窓ガラスに剥離可能に取り付けられる広告体であって、シート状基材の少なくとも第1の面に印刷層と剥離層を順に設けるとともに、第2の面に接着剤層を設け、かつ、大きさが異なる複数の広告媒体の前記第1の面と前記第2の面とを対面させて、小さいものから順に剥離可能に接着して積層した前記広告媒体の積層体と、前記第2の面の最外層側から前記広告媒体の積層体を保持する両面テープと、を備え、前記広告媒体が、前記両面テープを介して前記吊革や窓ガラスに取り付けられることを特徴とする広告体。

【請求項 2】

前記積層体の前記複数の広告媒体の少なくとも一端が剥離して、つまみ部を形成していることを特徴とする請求項 1 に記載の広告体。

【請求項 3】

電車等の吊革に取り付けられる広告媒体提供装置であって、

シート状基材の第1の面に印刷層と剥離層を順に設けるとともに、第2の面に接着剤層を設けた複数の広告媒体の前記第1の面と前記第2の面とを対面させて、剥離可能に接着して積層した前記広告媒体の積層体を有する広告体と、

前記第2の面の最外層側から、この第2の面に形成された前記接着剤層を介して前記広告媒体の積層体を保持する、前記広告体より大きく形成された台紙と、

10

20

複数の前記広告媒体の積層体にて形成された前記広告体および台紙を収納し、かつ、収納した前記台紙を両端部に保持するとともに、前記両端部間が開口された収納部と、を備え、

前記収納部は、前記吊革に取り付けられることを特徴とする広告媒体提供装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、広告体および広告媒体提供装置に関し、広告の情報を簡単に入手収集し、持ち帰ることが可能な広告体および広告媒体提供装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、電車等の車内広告用として、例えば、多数の吊り広告の近辺にそれぞれ配設され、この吊り広告の情報と関連して個別に作成された案内情報が表示される案内表示LED装置を設け、静的な広告と動的な広告を組み合わせた広告によるPR効果を向上させることができる案内表示装置を提供するものがある。

また、軟質の部材にてシート状に形成された広告部材と、硬質の部材にて形成されたピンとを備えた広告体であって、広告部材は、両端付近へ表裏に貫通する孔を備え、ピンは、それぞれ別体に形成された第1構成体と第2構成体を有し、第1構成体と第2構成体とが直線状に配され、螺子止めにより一体となってピンの軸部を形成し、広告部材が二つ折りにされ或いは略U字状に曲げられ、両端の孔同士が対向した状態にて両孔へピンの軸部が回動可能に嵌合され、広告部材がピンを介して環状となり、上方においてピンを環状部に配置するようにし、下方において吊り輪の中空部分を広告部材が通ることによって吊革に取り付けられるものがある。

【特許文献1】特開2000-47610号公報

【特許文献2】特開平9-97028号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、従来の技術では、広告部材或いは広告体を持ち帰ることはできないため、時間が経過すると広告の内容を忘れてしまう場合があるという問題があった。また、混み合った車内では広告の内容や問い合わせ先等をメモすることが困難であり、その広告によって提供される情報を収集する機会を失っている場合が多いという問題があった。

【0004】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、複数のシート状の広告媒体を公共の交通機関等の宣伝スペース内で提供し、興味を持った人は広告媒体を剥がして持ち帰ることができるようにするものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

請求項1に記載の広告体は、電車の吊革や窓ガラスに剥離可能に取り付けられる広告体であって、シート状基材の少なくとも第1の面に印刷層と剥離層を順に設けるとともに、第2の面に接着剤層を設け、かつ、大きさが異なる複数の広告媒体の第1の面と第2の面とを対面させて、小さいものから順に剥離可能に接着して積層した広告媒体の積層体と、第2の面の最外層側から広告媒体の積層体を保持する両面テープと、を備え、広告媒体が、両面テープを介して吊革や窓ガラスに取り付けられることを特徴とする。

また、積層体の複数の広告媒体の少なくとも一端が剥離して、つまみ部を形成するようにできる。

請求項3に記載の広告媒体提供装置は、電車等の吊革に取り付けられる広告媒体提供装置であって、シート状基材の第1の面に印刷層と剥離層を順に設けるとともに、第2の面に接着剤層を設けた複数の広告媒体の第1の面と第2の面とを対面させて、剥離可能に接着して積層した前記広告媒体の積層体を有する広告体と、第2の面の最外層側から、この

10

20

30

40

50

第2の面に形成された接着剤層を介して広告媒体の積層体を保持する、広告体より大きく形成された台紙と、複数の広告媒体の積層体にて形成された広告体および台紙を収納し、かつ、収納した台紙を両端部にて保持するとともに、両端部間が開口された収納部と、を備え、収納部は、吊革に取り付けられることを特徴とする。

【発明の効果】

【0006】

本発明の広告体および広告媒体提供装置によれば、混み合っている車内でも広告媒体を剥がして持ち帰ることができるので、瞬時に情報の入手が可能となるとともに、入手した情報を自宅でゆっくり見ることができる。また、広告媒体が剥がされた枚数を容易に確認することができるので、広告媒体によって提供された情報の反響の大きさを簡単に知ることができ

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

図1は、本発明の広告体を構成する広告媒体の一実施の形態の構成例を示す外観図である。同図に示すように、広告体100（図3）を構成する広告カード10の裏面には、一方の端部側の所定の大きさの領域に粘着剤（感圧接着剤）層11が形成されている。広告カード10の表面には、図2に示すように、広告が印刷等によって記録されている。

【0008】

図3は、台紙15に粘着剤層11で接着された1枚の広告カード10に複数の広告カード10を積み重ねて構成された広告体100の側面図である。同図に示すように、広告カード10は、それぞれ、基材14の表面に印刷層12が形成され、その上に通常の剥離紙等に用いるシリコン等からなる剥離層13が形成され、基材14の裏面に粘着剤層11が形成された構成となっている。そして、最下層の広告カード10は、粘着剤層11により台紙15に接着されており、この台紙15を電車内の吊革400（図7）や窓ガラス等に両面テープ等を用いて接着させることにより、広告体100を固定することができるようになっている。

20

【0009】

図3では、広告カード10を揃えて重ねるようにしたが、各広告カード10を隣り合うもの同士が所定の長さ分だけずれるように積み重ねることもできる。図4は、各広告カード10を隣り合うもの同士が所定の長さ分だけずれるように積み重ねて構成された広告体200を示している。この場合、広告カード10を一枚ずつ簡単に剥がして持ち帰ることができる。

30

【0010】

図5は、広告カード10の少なくとも一方の辺の長さが互いに異なる長さとなるようにし、最も短いものから順に積み重ね、最下層の広告カード10を台紙15に粘着剤層11により接着して構成された広告体300の長手側から見た側面図である。この場合も、広告カード10を簡単に一枚ずつ剥がして持ち帰ることができる。

【0011】

図6は、本発明の広告媒体提供装置の一実施の形態の構成例を示している。図6（A）は正面図であり、図6（B）は図6（A）のE-E線断面図、図6（C）は図6（A）のF-F線断面図、図6（D）は図6（A）のG-G線断面図を示している。同図に示すように、本実施の形態は、粘着剤層11を有する広告カード10が台紙15上に積層された広告体100と、広告体100を保持するホルダ31とから構成されている。このホルダ31は、広告体100の台紙15を左右の両端部で保持し、台紙15上に粘着剤層11を介して積層された広告体100を簡単に剥離することができるようになっている。ホルダ31には、図4に示した広告体200や、図5に示した広告体300を保持させることもできる。このホルダ31は、吊革400に接着剤や螺子等を用いて固定することができる。

40

【0012】

図7は、広告媒体提供装置を構成するホルダ31を電車内の吊革400に接着剤や螺子

50

等を用いて取り付けした例を示している。このように、ホルダ 31 を電車内の吊革 400 に取り付けることにより、乗客は、興味を持った広告カード 10 を簡単に剥がして持ち帰ることが可能となる。

【0013】

図 8 は、本発明の広告媒体提供装置の他の実施の形態の構成例を示している。図 8 (A) は正面図であり、図 8 (B) は図 8 (A) の C-C 線断面図である。図 8 (C) は図 8 (A) の D-D 線断面図である。同図に示すように、本実施の形態は、粘着剤層が形成されていない広告カード 30 と、広告カード 30 を保持するホルダ 41 とから構成されている。広告カード 30 には、表面または両面に広告が印刷されており、基材 14 の表面にのみ、または、基材 14 の表面と裏面の両面に印刷層 12 が形成された構成となっている。図 8 (A) に示すように、ホルダ 41 には、広告カード 30 の広告が見えるように、開口部 42 が形成されている。また、ホルダ 41 の上部には、広告カード 30 を取り出すための取り出し口 43 が形成されている。従って、広告に興味を持った者は、取り出し口 43 から簡単に広告カード 30 を取り出して持ち帰ることができる。

10

【0014】

図 6 に示した広告媒体提供装置に代えて、図 8 に示した広告媒体提供装置を構成するホルダ 41 を吊革 400 に接着剤や螺子等を用いて取り付けすることもできる。このように、ホルダ 41 を電車内の吊革 400 に取り付けることにより、乗客は、興味を持った広告カード 30 を簡単に取り出して持ち帰ることが可能となる。

20

【0015】

なお、上記実施の形態において、広告カード 10, 20 にクーポン券を付加することもできる。

【0016】

また、上記実施の形態の構成は例であって、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更することができることは言うまでもない。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図 1】本発明の広告体を構成する広告カードの裏面の構成例を示す図である。

【図 2】広告カードを表面側から見た図である。

【図 3】広告体の構成例を示す側面図である。

30

【図 4】他の広告体の構成例を示す図である。

【図 5】他の広告体の構成例を示す図である。

【図 6】本発明の広告媒体提供装置の一実施の形態の構成例を示す図である。

【図 7】図 6 の広告媒体提供装置を吊革に取り付けた様子を示す図である。

【図 8】本発明の広告媒体提供装置の他の実施の形態の構成例を示す図である。

【符号の説明】

【0018】

10, 20, 30 広告カード

11 粘着剤層

12 印刷層

40

13 剥離層

14 基材

15 台紙

31, 41 ホルダ

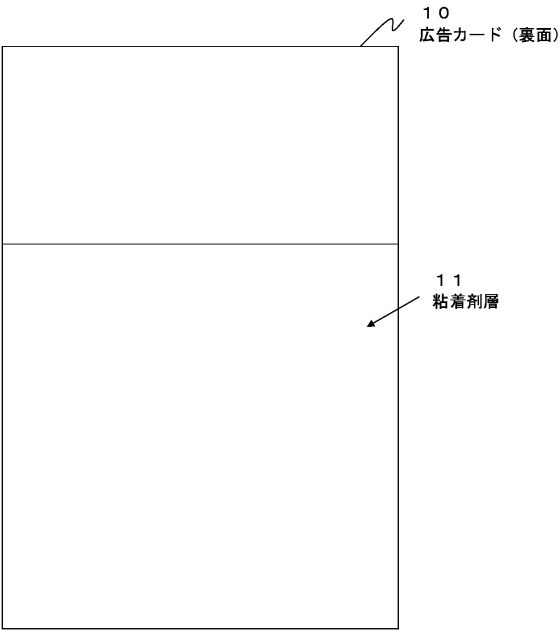
32 開口部

33 取り出し口

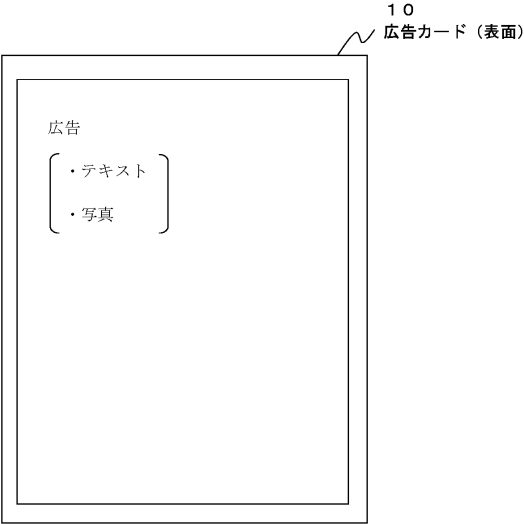
100, 200, 300 広告体

400 吊革

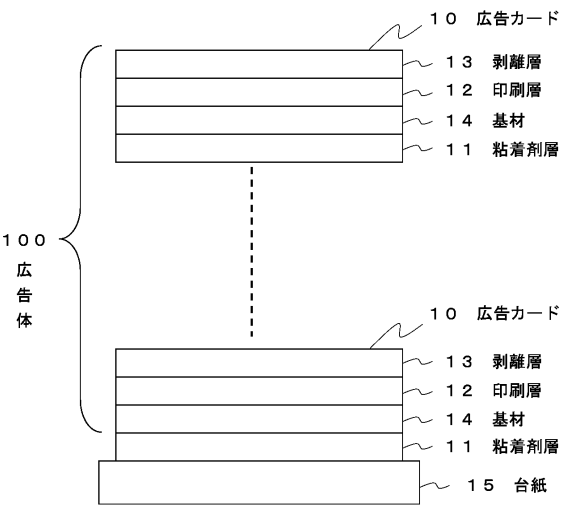
【図 1】



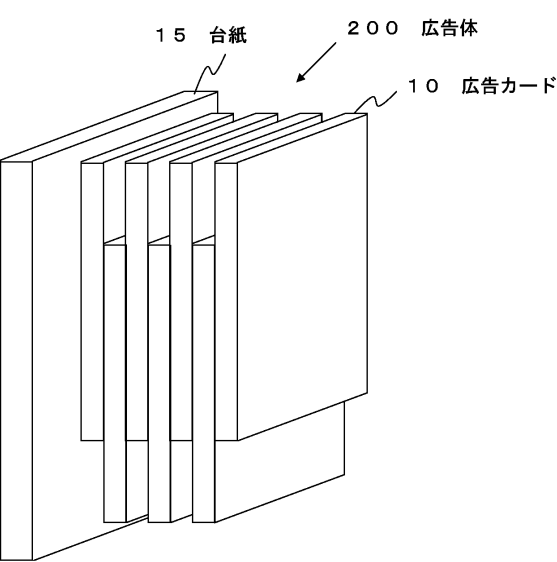
【図 2】



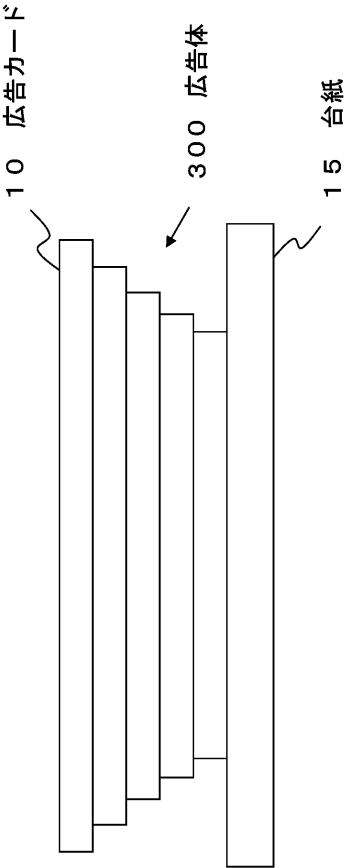
【図 3】



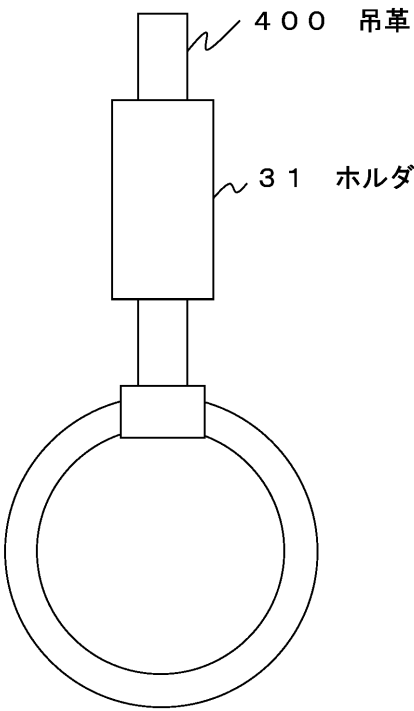
【図 4】



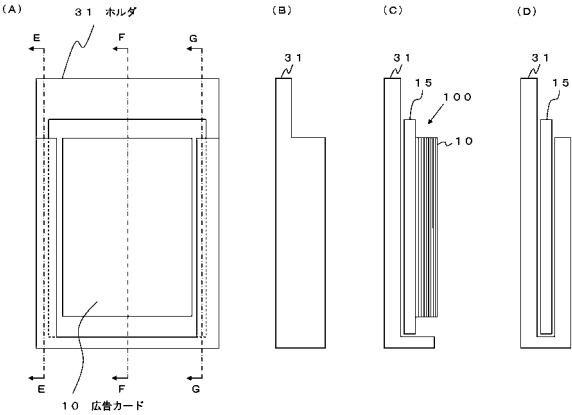
【図 5】



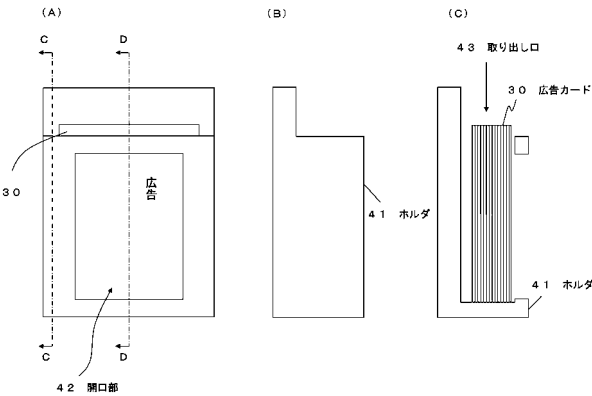
【図 7】



【図 6】



【図 8】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2003-22014 (JP, A)
特開平3-504054 (JP, A)
実開平6-46964 (JP, U)
特開2001-175181 (JP, A)
実開平3-20374 (JP, U)
特開平9-97028 (JP, A)
登録実用新案第3082582 (JP, U)
登録実用新案第3091916 (JP, U)
特開平6-100846 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G09F 3/00-3/20
G09F 19/00
G09F 21/04